蘀

石

源

持

集

対にまずらえ 鲢 泧 业

吃惟堰 · 成部 方 可鐵法 巨星:1 身 老 |畦別

柳功力 3 齋詩集卷 九

題 上数上数 酮 修 Υï

御製 唐虎 印出 - 15 T 挺 ___ 飰 石壶 3 金金 īŁ 刀河

墨百廢詩集修化 記悉 4 n)

た解析立 学 を 発展立 学 1 两可

短口野がそれし 1

身発力 启 ţ ı

也 巨新诗集卷儿

. 肾 电力 Ħ 7 前雨 ジジェ Č ¥,

臨淮 野コ野寺長冬し 七

官嗣 合が、当不多言生えっ 題によるがいる。

が、非 不秀言身発力

遊石齋詩集			
詩集餐第九			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
		•	

詩集卷十

元 院 州 城 州 山

濟詩集卷十

天道盡見 W. 71 2 1

詩集卷十 11121 / 112 - 112 VIV

齊時與當十 四 別皎煙天 で停幽 淺深 人人人 ランド・イフィン 以泊然欲到 城霧水 涯 流紋 į

欠筝舵息後豈術飯開 公依憲 新魚 深刻 嚴 水嚴上雲」 卡攤塘氣 ī 船遊 《宋》 指過和光經學 光緩當 灰 波巾 綠掠

所崖火瀧 復弦生中 修商師刊 = 何。 以與君育 に に 灌如石 龙女人至? 均<u>持</u>挂席已 缩為翠沙 七深

无

綇 討柏 訂 林 復行亦何憂和 鐵粉 一地河 ţ 識 級 獅 江 月 悠識悠歸 期 接 影聊 **非憂牙** 種韻 自淹谷 六

迹使个同 鳳墜辰焉 和美 清道 逦 釠 1:1:1 飯讀 月 翻案 掘する 裏頭燈 凶病首

壓石虧時東と十 日

御豚の水をはまった。

、東口寄寺長分十 i (

	可集卷第十	整石獅
	まる えらんスト	

,

所先影何 一日こうけられ 캢

集卷 巡

を行ういいできたっ 災先 女柳桃濃 **延**病 藕

澠 1搖踽木 **北**战火理 名次

程だっながにずほどろう 能

诗安 **红根**央 远概企天德四年 Je to だが、年 P, 心 乳不多言 貊 į ļ 11 部隆

からこうがようとなっ 4

되민

等工程中国名 Ĺ 形言身是 股不 \exists 漂 餘滙制

家は当日前が自る上 郛

雙後端記集 近: 活裝地 Ke. 不使出

侣高 中與聽 問門 慰

ķ

在此行秦來勿憂活質不向門前倚悠悠

E開 白齋詩 集卷十

越校 ź **尤清晰也** 松陵南湖 跋云 Ē 水竹居

詩一 上從 七地 陽在

香港主 ヨイラ盲子ス

橋良夜錦安魏 巷自度官用人 注河在上煙却 后持是數是於一個的學學學 流 銷 愁夢 仲 分 國番應

寂寞蒼獅 来不然后身是一 竹事擁闖 後夕

第二件寺長安

&女解则僕作女I 更東黎 : 甕[心水利 恐釜去不呼艇

発力は大手を受ける

黎] 王被 THE THE アニュ 3 **汎帰**恩 局 Į, 船行

定二所寺長学上 当 工里歸春欲軍竝 窗滩天風殉書妹 刊停上樂不斯杜 樂 Ŕ Ξ **卷**觀 泧

Yyn 训 濟 H 贬 **突厥照** H V TE E 2 青 幾 ÷

故過佛黎 守御製飾目

发我海我硅激则江 師之初高生 能我從雲 交遊不獻盡? 1月八日本語 1月1日本語 1月末 1月1日本語 1月1日本語 1月1日本語 1月1日本語 1月1日本 玄红 中 首 別其語字類 上忽 羊忽憐弗初日何 现益長子復獨追教如進 掃感並

題 誻 はやてはおいうろう

不强言身 可緣此詩 哪 莊高;

二番寺長安一

罗道 Ţ 了夏点 龍作 沿过区 ij ラルドイング 亚 **好修裴**崧 味

一所持集各十二 六

飛邊 1: 47 面製行九松

色盡微 问 詩集卷十 天略 河州泉市 閉。底

国環 遊黃 **二海** 参 神行

X 製を 獨點 Kij. ij 111

之地华花鄉原館 馬 うだりん ź 当配斷 江榆 (北 瓜 万清 過測坡地 加多 深水鴻 班的語為

北台

洛東松

屿维 代若做料

圍綢秋 欲用 **磨石辭寺**集 <u>|</u>

イラチェインジ 冷 Ji. 過於個才 分

就大復 F Ħ.